

翔 SHO

独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター 広報誌

TAKE FREE

冬号

2026 No.628

地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院・日本医療機能評価機構認定病院

■今月の PICK UP

令和 8 年 新年のご挨拶

■REPORT

新年のご挨拶
JCHO地域医療総合医学会
高校生に届けたい仕事の話～人吉高校訪問～
院内研究発表会
意思表示シート紹介

生活習慣病～食事と運動～
医療費保証制度・連帯保証人代行制度導入
花壇植え替え
門松作り
イベント開催のお知らせ

令和 8 年

新年のご挨拶



新年 明けましておめでとうございます。皆さま健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年も多くの患者様、ご家族の皆様、医療機関の先生方、そして地域の方々に支えられながら、当院は医療の質向上と地域貢献に努めてまいりました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

新型コロナ感染症も、落ち着きを取り戻したようにも感じられておりましたが、令和6年 年末からのインフルエンザ爆発的流行により、1年前は救急外来が切迫し、急遽 休日の発熱外来を立ち上げる状況となりました。今回の年末も入院患者様ならびに病棟スタッフにおけるインフル・クラスター発生もあり、院内感染対策強化継続を余儀なくされる現状です。引き続きのご理解、ご協力の程宜しくお願いいたします。

さて、巷で話題となっております様に、全国の医療機関の70～80%は赤字経営に陥っていると言われるほど、現在 各医療機関ともなかなか厳しい病院運営を強いられています。今年は診療報酬改定の年であり、その内容に期待しているところではありますが、なかなか明るい未来を見通すまでには至っておりません。かと言って、下を向いてばかりでは進歩がありません。人吉・球磨地域における人口減少に伴い、今後もスタッフ数の確保が困難となることは確実であり、限りある人数でも『必要とされる医療を安定かつ持続して供給する』為に、当院では医療のデジタル化を推進していきます。現時点では、救急外来ならびに災害時のデジタル化支援システムである Medical Continuity Plan (MCP) 支援システム、病床管理業務支援システム (MEDI-SINUS)、医療関係者間コミュニケーションアプリ (Join) ならびに整形外科における人工関節手術における新たな手術支援装置の導入を予定しております。

当院は、これからも成長し、基本理念である『145年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供』すべく、地域の急性期中核病院としての責務を果たしていきます。患者さんに優しい医療、地域の先生方の期待を裏切らない医療を行って参りますので、引き続き皆様の温かいご支援とご助言を心よりお願い申し上げます。皆様のご健康と笑顔あふれる一年を心よりお祈り申し上げます。

2026年 1月吉日

JCHO 人吉医療センター 院長
薬師寺 俊剛



2025
11/28・29

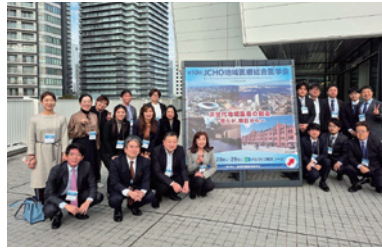
第10回 JCHO地域医療総合医学会

2025年11月28・29日にパシフィコ横浜ノースにて第10回JCHO地域医療総合医学会が開催されました。

今回は、「次世代地域医療の創造～我々が、明日から～」をメインテーマに行われ、当院からは合計17題のポスター発表、演題発表を行いました。

全国の各病院・施設での取り組み事例の発表や、活動報告などを見聞きする事で、多職種連携の重要性を再認識すると共に、日々の業務を振り返り、また明日からの業務に活かせる多くの学びを得た場になったのではないかと思います。

次回は、2026年10月9・10日に大阪国際会議場にて開催される予定です。



地域医療連携室 杉松 紗織

第10回 JCHO 学会 演題登録一覧

	所属	氏名	タイトル
1	外科	藏重 淳二	外科における診療看護師 (NP) 導入 3 年間の実績報告: 手術助手・病棟管理における貢献
2	外科	丸野 正敬	当院におけるがん診療連携バスの活用について
3	研修医	熊谷 謙士朗	転倒による外傷性十二指腸損傷の 1 例
4	研修医	白奥 正樹	絞扼性腸閉塞を認めたメッケル憩室の 1 例
5	研修医	高橋 幸恭	交通外傷後の遅発性に発症した外傷性横隔膜ヘルニアの 1 例
6	感染管理	別府 るみ	化膿レンサ球菌による家族内感染への感染制御チームの介入
7	9階病棟	日當 彩子	安全かつ効果的な小児点滴固定法を目指して
8	7階病棟	福田 奈美	自部署における臨地実習指導に対する意識調査
9	リハビリテーション科	山本 修	大腿骨転子部骨折患者の術前 CONUT score と術後 2 週時の移動能力の関連性
10	栄養管理室	吉永 晴香	過去 100 症例の糖尿病栄養指導実施報告書を振り返って～指導報告書の現状把握と業務改善につながるデータベース化を目指して～
11	総合診療科	田浦 尚宏	総合診療科の変遷と総合医育成
12	研修医	松田 直大	血圧左右差を契機に診断に至った大動脈解離の一例
13	研修医	山崎 賢	好酸球増多をヒントに診断し得た好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (EGPA) の一例
14	研修医	西田 有希	近医で骨折と診断された副腎障害の一例
15	5階病棟	今田 泉	急性期脳卒中患者に対する摂食機能療法の取り組み効果
16	診療看護師	財部 しのぶ	PICC チームの活動報告
17	消化器内科	深瀬 均	胆道血腫による閉塞性胆管炎を契機に残胃癌と多血性肝転移の診断に至った一例

2025
12/17

高校生に届けたい仕事の話 ～人吉高校訪問～



医療に関心を持つ生徒に医療現場を知ってもらい、進路に役立ててもらうことを目的に、12月17日、現役高校生との交流会を開催しました。

当日は、当院から研修医、薬剤師、看護師など12名が人吉高校を訪問し、人吉高校からは、1年生から3年生までの82名が参加してくれました。

最初に研修医の岩井 秋子医師が「地元で働く医者になる」の題で研修医の仕事内容や医師になった理由について話しをしました。その後、職種ごとに7グループに分かれて活発な質疑応答が行われました。

「夜勤は大変ですか」など、率直な質問が寄せられ、職員は自身の経験を交えながら丁寧に答えていました。参加した生徒からは「現場の話が聞けて参考になった」「奨学金制度について知れてよかった」などの声が聞かれました。職員からは「高校生との交流で刺激を受けた」「地域とのつながりを実感できた」と好評でした。

また、参加者からその家族へ、更にその家族から職員へ「先生の話に感動した!!」など、地域から当院への反響も寄せられ、とても良い時間が持てたと思います。今後も当院では、地域に開かれた取り組みを継続していきます。

総務企画課 黒木 美佐

2025
12/16

第39回 人吉医療センター研究発表会 人吉医療センター3階講堂にて開催

今回は田浦副院長をはじめ、医師、看護部、リハビリテーション科から計6題の発表がありました。多職種の多くの参加があり、参加者からの意見や質問もあがり、活発な討論の場となりました。

職種の垣根を越えて普段詳しく知る機会がない各部署の日々の業務や取り組み知る良い機会であり、各々の業務への刺激にもなりました。



地域医療連携室 田頭 隼人

第39回 JCHO人吉医療センター研究発表会プログラム

2025.12.16 於: JCHO 人吉医療センター 3階講堂 どうあん

No.	演題名	演者
1	ダニに咬まれて、血小板が低下したら	田浦 尚宏
2	化膿レンサ球菌による家族内感染への感染制御チームの介入	別府 るみ
3	看護師長が部署の看護マネジメントで抱えている課題の抽出～マネジメントラダーの構築に向けて～	鬼束 ひとみ
4	血圧左右差を契機に診断に至った大動脈解離の一例	松田 直大
5	大腿骨転子部骨折患者の術前 CONUT score と術後 2 週時の移動能力の関連性	山本 修
6	胆道血腫による閉塞性胆管炎を契機に残胃癌と多血性肝転移の診断に至った一例	深瀬 均

あなたの今の希望をお伝えください

意思表示シート・救急情報シート (いのちのボタン)

～「もしも」のときに速やかな救急搬送や病院での適切な対応を目指して～

当院では、患者の年齢や健康段階に関わらず、患者の価値観や将来の医療・ケアに関する意向について理解し、共有することで、患者にとって最善のゴール設定ができるよう支援します。そのために、厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえ、多職種で構成される医療・ケアチームで、患者・患者関係者（家族）等に対し、適切な説明と十分な話し合いを行い、患者ご本人の意思を尊重し、意思決定できるように支援します。

患者及びご家族等の意思を尊重して、様々な場面で適切な意思決定ができるよう、当院では1つの手段として、意思表示シート・救急情報シート (いのちのボタン) を使用しています。

意思表示シート

将来、自分の考えが伝えられなくなった時に備えて、「これからの受ける医療やケアについて、自分自身の考えを家族や信頼できる方、医療従事者などに明らかにしておくこと」を目的としています。

救急情報シート (いのちのボタン)

救急車を必要とした**もしも**の時に**自分自身のことを伝えることができない場合に、救急隊・医療機関等へ情報を活用することを目的**としています。緊急連絡先やかかりつけ医、持病・服薬中の薬などを共有しておくことで、速やかな救急搬送や病院での適切な対応が可能となります。

【使用方法について】

- 平時よりご家族などの大切な方々とご本人のご希望や現時点での人生の最終段階の過ごし方に関する希望を話し合うことが大切です。
- 意思表示シート、救急情報シート (いのちのボタン) を記入、各自保管します。また、当院も推奨しているくまもとメディカルネットワーク (KMN) にてかかりつけ医や薬局、介護事業所等の関係機関と事前に情報を共有しておくことで緊急時の際に KMN でのシート内容確認や必要時に緊急連絡先への連絡が可能となります。
- このシートは現時点での希望・記録となります。緊急時にはご本人の意思を尊重し、その時の病状も踏まえて、このシートを手掛かりに再度、意向を確認しながら、多職種で検討していきます。また意思表示はいつでも変更・撤回は可能です。



昨年より入院パンフレットにも意思表示シートを同封しております。

熊本県地域医療等情報ネットワーク



くまもとメディカルネットワーク

熊本県地域医療介護総合確保基金事業

熊本県地域医療等情報ネットワーク連絡協議会



当院は、くまもとメディカルネットワーク (KMN) の活用を推進しております。地域の関係機関とICTを活用したネットワークをつなぎ、患者同意のもと、内服や画像データ等の情報を共有して、医療や介護サービスに生かすことにより質の高い医療や介護がスムーズに受けられるように取り組んでいます。

球磨圏域ではKMN参加同意数は53.3% (R7年12月26日)です。総人口の約2人に1人が参加同意をされています。



地域医療連携室 田頭 隼人

「生活習慣病 ～食事と運動～」

教えて



食事について

生活習慣病は、食事や運動、睡眠など日々の生活習慣の積み重ねによって発症リスクが高まる病気です。糖尿病や高血圧、脂質異常症といった疾患は、自覚症状が少ないまま進行し、将来の心筋梗塞や脳卒中につながることも少なくありません。そのため、若い世代から正しい知識を持ち、日常生活の中で無理なく予防に取り組むことが大切です。

こうした生活習慣病予防の鍵となるのが「食事」です。私たち栄養士は、栄養バランスの整え方や減塩・適正エネルギーの考え方、外食や間食との上手な付き合い方など、すぐに実践できる具体的な工夫を分かりやすくお伝えしています。当院で行っている市民向け栄養講話では、専門的な内容を身近な例に置き換え、参加者一人ひとりの生活に活かせる知識を提供しています。

「何から始めればよいかわからない」「続けられるか不安」という方こそ、ぜひ栄養講話にご参加ください。正しい知識を身につけ、小さな行動を積み重ねることが、将来の健康を守る大きな一歩になります。



(市民向け栄養講話)

毎月第二木曜日 13時から 30分程度 【1/8(木)・2/12(木)・3/12(木) 予定]
2階西棟外来ホール (婦人科外来から眼科外来前)

管理栄養士 中村 利枝

運動について

生活習慣病予防の為に運動習慣

食べる 摂取カロリー < 運動 消費カロリーは基本ですよ。

食べたらごろごろスマホ、近くのコンビニにも車、買い物はお店のできるだけ近く、散歩・・・いやいやしてません。

皆さん、階段使ってますか？ エレベーターやエスカレータばかりじゃないですよ。当然昇りの方がカロリー消費は多いのですが、筋力、特に大殿筋・大腿四頭筋の筋肥大には遠心性の収縮が働く降りの方が効果的なんです。エレベーターを待つ時間、消費電力、自分の健康増進、スタイル改善等、良い事ばかりです。「たった1階だけどまあいいか」ではなく、まずは降りからでも階段を使ってみませんか。



理学療法士 塚島 靖博

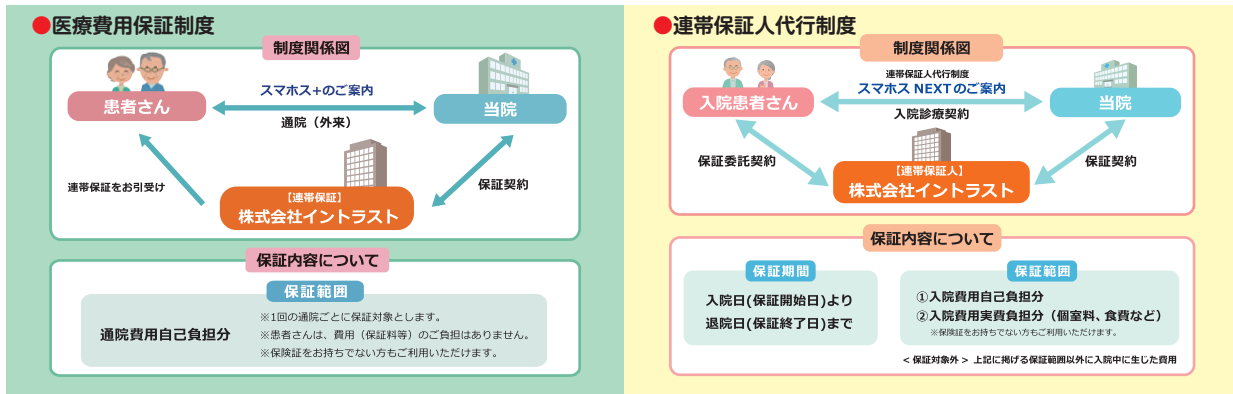
医療費用保証制度・連帯保証人代行制度導入のお知らせ

令和8年2月1日(日)より、医療費用保証制度、および連帯保証人代行制度を導入いたします。

医療費用保証制度は、通院の患者さんが当院に対して、万一医療費のお支払いを延滞した場合、患者さんの代わりに(株)イントラストが医療費を当院に立替払いし、立替した医療費を(株)イントラストから患者さんへ請求させていただきます制度となります。

連帯保証人代行制度は、当院への入院にあたって、(株)イントラストを連帯保証人とし、患者さんは原則、個人の連帯保証人をご準備いただく必要はなくなり、万一入院患者さんが当院に対し入院費用のお支払いを延滞した場合、入院患者さんの代わりに(株)イントラストが入院費用を当院に立替払いし、立替した入院費用は(株)イントラストから患者さんへ請求させていただきます制度となります。

医事課



花壇植え替えました

地域協力隊の皆さんに花壇の花の植え替えをしていただきました！毎日の水やり、虫取り、草むしりなど植物たちを大切にしてくださり本当にありがとうございます。



立派な門松ができました

中村末太郎さんの指導の下、立派な門松が完成！華やかでお正月らしい玄関となりました。



イベント開催のお知らせ

- 2/12 市民向け栄養講話「免疫と食事」
13:00～13:30 2F 婦人科テレビ前
- 2/18 くま川がんサロン「茶話会」
14:00～15:00 3F 研修室 1
- 3/12 市民向け栄養講話「お酒の上手な付き合い方」
13:00～13:30 2F 婦人科テレビ前



人吉医療センター

理念 145年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心の医療
患者の人権と意思を尊重します

診療3本柱
がん・救急・予防医療を中心に医療機能の充実を図ります

完結型医療
地域の医療機関と連携し安心できる医療の展開を行います

地域包括ケア
地域包括ケアシステムを推進し地域のまちづくりに貢献します

社会貢献
災害医療派遣・医療情報公開・医療ボランティアの活動を行います

医療人育成
地域医療に貢献できる医療人の育成を行います

臨床研修理念 医師としての人格を涵養し、医学・医療の社会的役割を認識しつつ、臨床に必要な基本的診療能力を習得し、全人医療を提供できる医師を目指します。

- 臨床研修の基本方針
1. 人間性豊かな医療人の育成
 2. 医療全般にわたる広い視野と高い見識を持つ医療人の育成
 3. 患者の立場に立った医療を実践する医療人の育成
 4. チーム医療のできる医療人の育成
 5. 生涯学習をする医療人の育成
 6. 地域医療に貢献する医療人の育成
 7. 公的中核病院としての責務を自覚する医療人の育成

